

# 地区協わかば

発行者:若葉学校地区協議会  
会長 藤丸 卓男  
事務局:調布市立若葉小学校内  
連絡先:調布市協働推進課  
042(481)7036  
地区協mail:  
wakabatikukyo2009@gmail.com

## 防犯座談会を終えて

2月8日(土) 東部公民館で、2019年度の防犯座談会を開催した。

参加者は、調布市総合防災安全課をはじめ行政関連機関及び自治会・地区協を併せて44名であった。

ご存じの通り、特殊詐欺については、警察等の対策にもかかわらず、大幅な減少を見られないことから、各自が意識を高め、自らを守ることの大切さを認識してもらうための開催である。

まず、総合防災安全課生活安全係の尾崎係長による「だまされないで! 特殊詐欺について」の講座が開かれた。調布市では、令和元年は前年に比べ、若干減少したが、東京都下では被害の多いほうであった。

還付金詐欺・アポ電強盗の増加、キャッシュカード詐取(詐欺盗)・融資保証金詐欺などの新しい手口の詐欺が増加中である。

被害者については、65才以上の女性が73.8%を占めている。(内70代・80代が86%超)

又、新しい手口の融資保証金詐欺による被害者は、男性が75%を占めている。

アポ電は、昼前や夕方に多く、市役所・警察官・百貨店・家電量販店を名乗る者が主体である。

対策としては、

- ①お金やカード類に関する話には応答しない。
- ②クレジットカードやキャッシュカードを絶対に渡さない。
- ③自動通話録音機の設置。
- ④ひとりで結論を出さず、家族・知人・警察に相談する。

等が詳しく説明された。

続いて、体験談等を交え、熱心なグループ討論が行われ、

- ①不審電話の警察への確認。
  - ②家族・近隣とのコミュニケーションの強化。
  - ③留守番電話の設置。
- 等の提言がなされた。

以上が要旨であるが、この講座や提言を有効に活用し、今後共地域住民に対する啓発活動を続けていきたい。

(防犯推進委員長 元部 欽司)



# 防災訓練を振り返って

令和元年度の防災訓練は11月17日(日)246名が参加し行われました。今年度は①行政と連携をとり実践的な訓練を行なう。②タオル等による安否確認訓練を自治会で試行する。③参加者を増やす。の3つを課題と掲げ実施しました。



## 1. 行政と連携をとった実践的な訓練

避難所設営(マンホールトイレの作成等)、救出・搬送(担架)訓練、及び応急救護(AED、三角巾)、消火(消火器実演)・放水(スタンドパイプの体験)、炊き出し(アルファ米)訓練等の実技訓練を行ないました。地域の住民と消防署の連携が良く取れ、活気ある訓練が経験できました。また、避難所のマンホールトイレ作成も市職員と連動し、神代高校生の活躍もあり手際よくできました。四中ボランティアも含めた中、高校生が良く動いてくれました。



## 2. タオル等を使った安否確認訓練

「タオルを使った安否確認訓練」は発災時に我が家(家族)は無事という印に、タオル、旗などを玄関や門など外からわかる場所に掲げてもらうことで、安否の分からない家(タオルの出していない家)の安否確認や救助を迅速に行おうというものです。従前から若葉町、若葉町3丁目自治会で行っていますが、今年度は京王若葉、新野川、かすみね、蟹沢、若竹、入間町1丁目(事前に実施)自治会で実施して頂きました。今年度は準備期間もない状況でしたが、約50%の家庭が協力してくれました。来年度以降も工夫して行いたいと思っています。



## 3. 参加者を増やす

今年度の参加者は246名うち地域から参加者が149名、中高生32名、行政、地区協運営委員65名で昨年とほぼ同じ参加者数でした。

「参加者を増やす」の取り組みとし、各戸への個別配布を追加するほか、ハンドマイクによる広報巡回、立て看板の作成などを実施しました。また、イベントとして体育館での

「防災落語」秋風亭借金さんの「二番煎じ」の一席や各訓練を巡るペットボトルラリー、防災用品の展示・販売なども行いましたが、残念ながら参加増にはなりませんでした。今後も皆さんが気楽に立ち寄れる企画を行いたいと思っています。

天気も良く、ケガ人なく、無事終了することができました。普段からできないことは、災害時に急にできるものではありません。今後共一人でも多くの地区の皆さんが楽しく参加でき、防災知識を得ることのできる防災訓練を行なっていきましょう。

## 災害多発の年 地域防災訓練

毎年秋恒例の若葉学校地区協議会主催の防災訓練に参加した。台風や大雨による災害が多発、調布市内でも避難勧告が出た年だったので多くの参加が期待されたが、地域住民の参加者は約150名に留まった。

当日は秋晴れ、各自治会等からの参加者が体育館に集まり午前10時から開会式の後、校庭にでた。ここで地震災害を想定した救出、搬送、応急救護、消火、煙テントくぐりなどを順繰りに体験した。消防署員らの指導をボランティアで加わった神代高と四中の生徒がサポートしていた。

消防車の放水演技で屋外の訓練が終わると体育館に戻り「防災落語」と銘打つ秋風亭借金さんの「二番煎じ」の一席を聴いた。町内会の夜回りが脱線してしまった嘶で「火の用心！」の連呼があった。会場内で防火用具の展示販売も行われていた。

日頃からの訓練が大切だと思った。 (若葉町自治会 村野 垣)



## 自慢のわがまち紹介

若葉学校地区協議会の防犯委員会では、月2回の防犯パトロールを10年前から実施しています。また、美化活動（ごみ拾い）も合わせての活動は6年ほどになります。活動を通して毎回感じることは、ごみの落ちていないきれいな地域はいつでも決まってきたりということなのです。

「割れ窓理論」というのがあり、割れた窓を放置しておく、次々とほかの窓も割られやすくなり、小さなほころびも早め早め

に対応することで防犯につながるという、環境犯罪学の理論だそうです。若葉小・四中のPTAによる防犯パトロールが実施されていることもあり、嬉しいことに6年前から比べて不審者による被害が減りつつあります。またわがまち全体も年々ごみが少なくなっているように感じます。防犯委員会ではこれからも安心・安全できれいなまち作りに努力したいと思います。皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

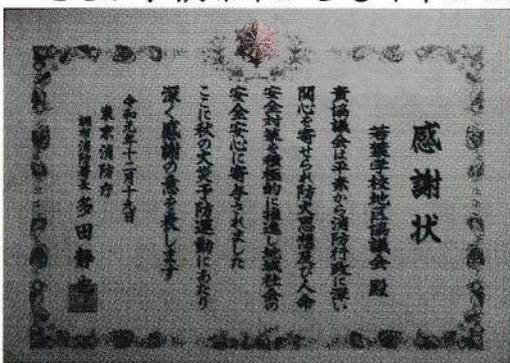


(防犯推進委員 岸本 秋美)

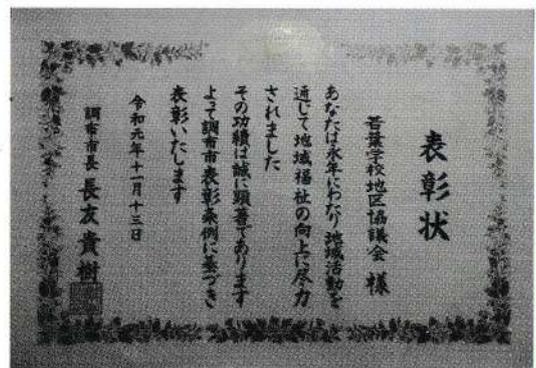
## 功労賞・感謝状を頂きました

若葉学校地区協議会が平成30年の調布消防署から「救急」についての感謝状を頂いたのに続いて、令和元年も調布消防署から「消防活動」について感謝状をいただきました。

さらに、調布市からも昨年11月に「市政功労賞」



を頂きました。これも地区協議会の皆様方の努力と活動の結果で、調布市及び調布消防署から活動が認められた証です。今後も地域活動をさらに盛り上げていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



(会長 藤丸 卓男)

## 天体観察「2019・12月の部分日食」

2019年は1月6日に続き、冬休みに入ったばかりの12月26日に2回目の部分日食がありました。

太陽は2時半頃から欠け始めるので、2時に集合し日食の説明や、太陽の観察の仕方などを校医の竹田先生にお話ししていただき、日食の始まるのを待ちました。

結局あいにくの天気では観察はできませんでしたが、若葉小の先生方のご協力でグアム島の日食をライブで見たり、天体の本で学習したり、竹田先生にいろいろなお話しが聞けたりと、充実した観察会となりました。



(若葉小地域学校協働本部 大嶋 文子)

## 「人をつなぐ・地域をつなぐ」 ～武者小路実篤記念館紹介～

武者小路実篤記念館は、実篤生誕100周年にあたる1985年、彼が晩年の20年間を過ごした調布市仙川の旧邸宅隣接地に開館しました。

武者小路実篤は、『友情』、『愛と死』などの作品や、雑誌『白樺』の創刊で知られる文豪ですが、その活躍は文学活動だけにとどまりません。

その仕事は、「新しき村」の創設や、味わい深い作風で知られる書画の制作のほか、美術紹介、演劇、出版、思想など生涯を通して実に幅広い分野にわたっています。

館には、武者小路家から寄贈された東洋美術を主体とした実篤コレクションや、400点以上の原稿、書簡約670通、書画約430点（スケッチ含む）が収蔵されています。さらに、友人や家族から実篤に宛てた書簡、白樺同人ら関連作家の原稿や書画、実篤や関連作家の著書・主宰雑誌・研究書約3万冊などがあり、これらは収蔵品データベースから、インターネット上でも検索することができます。

こうした実篤の精力的な執筆活動や、幅広い業績によって遺された資料を多角的に公開していくため、記念館では常設展示を設けておりません。展示室では毎回違った切り口のテーマにより、年間に春秋2回の特別展と、館所蔵品による企画展を約6回開催しており、何度訪れても違った発見や楽しみが見つかる館としてご好評いただいています。

2020年の今年、春と秋に雑誌『白樺』発表110年を記念して文学・美術の特別展を開催するとともに、夏には東京オリンピック応援企画として、実篤とオリンピックに関連した展覧会も予定しています。

これからも地域に根ざした文化施設として、子どもから高齢者の方まで文学・美術に親んでいただけるよう、努めてまいります。皆様のご来館を、心よりお待ちしております。  
(一般財団法人 調布市武者小路実篤記念館 常務理事 大木 正勝)



### ●●● メールアドレスが変わりました! ●●●

現在地区協議会では、地域のネットワーク作りをはじめ、防犯・防災等において地域の安全、安心、減災に取り組んでおります。地区協議会の活動に関心のある方のご意見・ご要望をお待ちしています。お気軽に、下記へメールしてください。

メールアドレス:wakabatikukyo2009@gmail.com